

## 第6章 今後の取組

子どもたちの「わからない」「できない」を、「わかった」「できた」という実感につなげられるよう、県教育委員会では、広域教育行政の立場から子どもたちが学習内容を確実に理解・定着できる取組を進め、より一層市町と連携しながら学校・家庭・地域の取組を支援してまいります。

### 学習内容の理解・定着状況を確認するための取組

#### (1) 確認用ワークシート（学-Viva!!セット）の提供

学-Viva!!セットに、学習内容の定着状況が確認できるよう、当該学年で身につけておくべき基礎からの標準的な問題を集めたワークシートを加えて提供します。各学校においては、全国学調の結果分析等から明らかになった課題における学習内容の理解・定着が図られるよう、計画的に活用してください。

#### (2) みえスタディ・チェックの改善

これまで毎回異なる問題を出題していましたが、1月実施分は4月実施からの定着状況の確認や経年での比較検証ができるよう、同一、同趣旨の問題で作成します。実施後、課題の理解・定着状況を把握し、課題を改善する取組を進め、子どもたち一人ひとりの学習内容の確かな理解と定着を図ってください。

#### (3) 子どもたちの理解・定着状況に応じた少人数指導

子どもたちの課題に応じて、より学習内容の理解・定着が図られるよう、「効果的な少人数指導推進ガイドブック」をふまえ、教科・単元の特性に応じた指導形態による少人数指導の取組を推進します。

### 経年的な課題の改善に向けた取組

#### (1) 「わかる・できる育成カリキュラム」の提供

各学年の学習内容の積み上げが必要な小学校算数の「割合」「図形」について、小学校6年間の学習内容のつながりを把握し、より効果的な指導が行えるよう、『割合』『図形』における子どもたちの理解の状況」「小学校算数科における『割合』『図形』の学習のつながり」「『割合』『図形』における指導のポイント」「たしかめプリント」で構成した指導資料「わかる・できる育成カリキュラム」を作成し、全小学校教員及び中学校に提供しました。

また、各学校において子どもたちの学習内容の理解・定着状況を確認できるたしかめプリント「割合スペシャル」を各校1部配付するとともに、計算マスター、図形たしかめプリント（追加版）を、授業改善サイクル支援ネットに掲載しました。

各学校で小学校6年間の学習内容のつながりを理解した授業実践に向け、「わかる・できる育成カリキュラム」を活用してください。

#### (2) 数学的思考力を育成するPC版学習教材「Think!Think!」の提供

展開図が立体になるかどうかを頭の中で考えたり、平面図形で補助線をイメージしたりすることなど、PC上でゲーム感覚で学べる教材「Think! Think!」を活用して、「空間認識」「平面図形」「数学的处理」等の感覚を低学年から身に付けられるよう、活用を希望する小学校及び特別支援学校に、民間企業と連携して、PC版学習教材「Think!Think!」を提供しています。

### 教職員研修での取組

#### (1) 新任校長研修における取組

新任校長研修に授業改善のマネジメント、教員の授業力向上に向けた指導・助言方法などを取り入れます。

#### (2) 教職員研修における取組

若手教員を対象とした研修に、めあて・振り返りの効果的な実施、子どもの課題に対応した授業づくり、教材の活用などについて、授業改善に向けたより実践的な取組を位置付けます。

## 家庭・地域と一体となった生活習慣・読書習慣の確立に向けた取組

### (1) 生活習慣の確立

県PTA連合会と連携し、生活習慣・読書習慣チェックシートの取組を実施します。

また、子どもを持つ保護者が、話し合いやワークを通じて子育てや家庭教育を学ぶ「みえの親スマイルワーク」が就学前検診、入学説明会等の場で実施されるよう、ファシリテーター養成講座を開催するとともに、ワーク進行について助言・支援を行います。また、実践事例を集めて発信することでワークの実施を拡大していきます。

### (2) 読書習慣の確立

これまでの取組（ビブリオバトル、ビンゴカード）に加え、朝の一斉読書の時間等の活用をはじめとした学級全体で取り組める読書活動を提案し、取組を行う学校へ、各取組の実施手順などを示した簡単な資料を提供するなど、学校における取組の実施を支援します。

### (3) 地域による学習支援

子どもたちが参加しやすい時間帯に実施している例や、全国学力・学習状況調査の結果等から見てきた子どもたちのつまずきに応じた内容にしている例など、工夫した学習支援の事例を収集し市町等教育委員会に提供していきます。

また、中学校区における地域未来塾等、地域で学習支援を行う団体と子どもたちのつまずきや学校の課題を共有し、子どもたちの状況に応じた支援ができるよう市町等教育委員会と連携して取組を進めます。

## <参考> 「子どもの問題は、大人の問題」です。

子どもたちは、一人ひとりがかげがえのない大切な存在であり、将来、地域で輝き、世界で活躍する姿は、私たちの希望であり未来です。子どもたちの無限の可能性を最大限引き出すとともに、強みを伸ばして支えていくことは、子どもたちに関わる全ての大人の役割と責任です。子どもたちは、大人を見ており、「子どもの問題は、大人の問題」です。

教育は子どもたちの心に灯をともしることであり、大人が子どもたちを信じ、寄り添い、情熱を持って心を通わせる中で、希望の灯をともし、やる気にスイッチを入れることが大切です。また、子どもたちは、さまざまな場での学びをとおして成長していきますが、教育格差が原因となって貧困の連鎖が生まれ、子どもたちの将来が閉ざされることがないように、子どもたちを多面的にサポートする人びとのつながり（絆）が、これまで以上に求められています。

そこで三重県では、子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいくため、教育関係者のみならず、全ての県民が教育の当事者としての自覚を持ち、「毎日が未来への分岐点」という思いのもと、それぞれの役割を果たし、子どもたちと向き合っていきます。平成28年度からの4年間は、みえの学力向上県民運動セカンドステージとして、学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により、対応が難しい問題については、地域による学習支援や居場所づくりなどにより、地域で支えるという方向性を基本としながら、県民力を結集し、全力で取り組みます。

（「みえの学力向上県民運動 基本方針」より一部抜粋）

## <参考>

「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」(<http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>)

### ○基本方針

・県民運動の趣旨等をご覧ください。

### ○生活習慣・読書習慣チェックシート

・ご家庭でダウンロードして活用していただけます。

### ○みえの親スマイルワーク

・「みえの家庭教育応援プラン」に基づき作成された、学級・学年の懇談会、PTAの行事などの機会や、地域のサークルや企業内での集まりなど、研修会や学習会だけでなく、さまざまな場面で活用していただけるワークを掲載しています。